



感動を通して“心を耕す” ～自分らしさを発揮した展覧会～

副校長 立野 文雄

子供たちの心を育てるうえで、「心を耕す」という表現があります。「畑を耕す」という表現は周知のように、土に空気を含ませ、土の中の微生物の活動を活発にさせて作物の育成を豊かにすることです。

では、「心を耕す」とはどういうことでしょうか。これは、未成熟であったり凝り固まったりした心をほぐしたり癒したりしながら活性化を図り、心を元気に豊かにしていくことです。「心を耕す」ためには、様々な体験活動が重要です。体験をもとに考え話し合いながら、子供たちの心は豊かに育っていきます。

さて、様々な体験の一つに感動体験があります。今、季節は紅葉真っ盛りですが、四季折々の美しい自然は私たちに感動を与えてくれます。また、スポーツ選手の活躍場面や素晴らしい絵画・音楽に触れたとき、人の努力する姿や優しい言動を見たとき、私たちの心は動かされ、心が耕されていきます。

11月の展覧会では、子供たちの魅力的な数々の作品に感動させられました。子供たちが自分らしさを100%発揮した作品を鑑賞していると、微笑ましくなったり、考えさせられたり、その表現力の素晴らしさに、思わず心がぐらっと揺れ動きました。

子供たちは、制作過程の中で、試行錯誤を繰り返しながら作品づくりに取り組んだことでしょう。表面に見える形だけでなく、一人一人の子供たちの考えや思いが伝わってくるようでした。例えば、6年生の「アートチェア」ですが、題名が作品と実にマッチしていました。自分で決めたテーマを追求して表現されている作品に感心させられました。

また、ランチルームには、「ランチョンマット」や「エプロン」、「グルメなお皿」などが飾られ、すてきなカフェの雰囲気をかもし出していました。鑑賞された方々からも好評でした。

この展覧会では、図工科の「表現や鑑賞の活動」、家庭科の「実践的・体験的な活動」を通して、子供たちは様々なものに感動することができたことでしょう。今後も、様々な感動を通して心を耕し、子供たちの豊かな情操を育てていきたいと思えます。

子ども園との連携

連携担当

本校と四谷子ども園とは平成19年度に同じ敷地に建設され、連携を続けてきました。そして、今年度も引き続き各学年と各組の子供たちが関わりを深める予定です。

今学期中では、6年生が総合的な学習の時間に「大きくなった自分を感じて～子ども園との交流」で、子ども園の2歳児・3歳児の子供たちと触れ合う計画を立てています。あと4か月余りで卒業を迎える6年生にとって、自分の成長を振り返る契機となり、自分の成長を見守ってくれた方々への感謝の気持ちが育ってくれたらと願っています。

また、5年生は次年度に入学予定の5歳児の子供たちとの交流を深めています。先月に行われた展覧会では、5年生が小さな子供たちの手を引いて一緒に作品を鑑賞する姿が見られました。今月には、一緒に給食を食べる活動も予定しています。

さらに、1年生では3学期に、来年度1年生となる5歳児に小学校を体験してもらう学習を計画しています。1年生は進級への気持ちが高まり、5歳児は入学への期待が高まる活動となり、双方に得るものが大きい活動です。

今後も子ども園との連携を通して、豊かな心を育んでいきたいと考えています。

11月は「ふれあい月間」でした。学校では、子供たちの心の状態を把握すべく、学校生活についてのアンケートを実施しました。

何かご心配なこと等がございましたら、どうぞ、ご遠慮なく学校までお知らせください。

開校10周年記念式典や関連の行事は、新宿区の規定により、平成29年度に実施します。



未来につながる団結力

6年2組

6年2組は男女の仲が良く、行動がとにかく速い素晴らしいクラスです。

学校生活の様々な場面で、思いやりの心を持ち、お互いのよさを尊重しながら助け合うことができます。休み時間や給食中には楽しい話題に花が咲き、笑顔があふれています。教室の教卓でそんな姿を見ていると、こちらも自然と笑顔になります。

行動の速さにも心の温かさが関係しています。給食の準備や掃除では、自分の役割をしっかりとこなし、仲間のために全力を尽くしています。誰がやってもよい仕事は、気が付くといつもちがう誰かがみんなのために終わらせています。そんな姿に日々助けられ、また喜びを感じています。

このように子供たちが成長することができたのは、何度も話し合いをして作り上げ、飾り付けられた学級目標の力だと思います。

6年生として、小学生として過ごす時間もあと僅かになってしまいました。日常の何気ない一日を大切に、思い出を積み重ねていこうと考えています。

「認め合い、励まし合える仲間たち」

3年2組

9月末に新しい担任になり、早くも2か月半が過ぎました。3年2組の子供たちと初めて会った時のまっすぐなまなざしは今でも忘れられません。

3年2組を一言で表すと、「お互いを認め合い、励ますことのできるクラス」です。2学期に入ってから、体育で「タッチボール」というゲームに取り組みました。子供たちにとっては、ボール操作をしながら、チームを組んで試合をするという初めての体験でした。クラスを6チームに分け、対抗戦をしましたが、仲間と協力して得点を入れた時の喜びや一体感は特別なもののようでした。その一方で、試合に負けてくやしい気持ちがいっぱいでも、仲間を責めることなく、試合を振り返り、良かった点や反省点を次の試合に生かしていこうという意欲が感じられました。

3年生としての生活も後半を迎えました。これからもお互いを認め合い、励まし合いながら、39人全員のよさが光るクラスにしていきたいと思います。

冬休みの過ごし方

生活指導主任

早いもので、今年も残すところ一ヶ月となり、子供達を楽しみにしている冬休みも目前です。冬休みは、一年を終え、新しい年を迎える大切な期間です。気持ちよく新年のスタートを切ることができるよう、学校では、冬休みの過ごし方について以下のことを重点に指導いたします。

1. 規則正しい生活をしよう。

- ・早寝、早起きをして生活のリズムを整えよう。
- ・気持ちのよいあいさつをしよう。
- ・家のお手伝いを進んでやろう。

2. 健康と安全に気をつけよう。

- ・交通安全に気をつけよう。
- ・考えてお金を使おう。
- ・外出時や遊びのルールを守ろう。
- ・風邪やインフルエンザの流行を防ぐために、うがい手洗いなどをしっかりしよう。

